

【札幌市環境プラザ】

札幌市環境プラザは、札幌市内中心部に位置し、様々な展示物で環境について学んだり、環境に関する情報を発信するなど環境における拠点施設となります。特に、子ども達（小学生）への環境教育の場として活用されていることから、本市においても幼児・小学生への環境教育には、よりいっそう取組んでいかなければならないと考え、視察先として選んでおります。

施設運営は指定管理者制度が導入されております。

《ホームページ <http://www.kankyo.sl-plaza.jp/>》

【じゅんかんコンビニ 24】

じゅんかんコンビニ 24 は、セルフサービス（持ち込み）方式での無人回収システムで、端末を操作して資源物を回収 BOX に投入します。リサイクル対象資源物は古紙類、空き缶・ペットボトル、金属製品、携帯電話、パソコン本体や小型家電となります。

道内には、札幌市に 5 か所、釧路市に 1 か所あり、本市にはまだ設置されておられません。本市においては、行政主体で主要古紙（新聞紙・雑誌・ダンボール）の回収拠点としてリサイクルボックス、古着古布・廃食油・小型電子機器・蛍光管の回収ボックスをコミセンや店舗など設置しております。これらに民間における資源物回収拠点が設置できれば、市民の利便性が向上し、リサイクル推進が図られると考えられます。

今回、発寒店（札幌市西区）を見学しますが、発寒店は営業所に併設しているため、単独設置している太平店（札幌市北区）を車窓から見学する予定です。

じゅんかんコンビニ 24 は㈱マテックが運営されております。

[流れ]

- 1 受付室の専用端末で『会員カード』をかざして受付（新規の場合はカード発行）
- 2 専用端末の指示に従い、資源物をボックスに入れる。
資源物に応じて『リサイクル貢献度』が付与（アップ）
- 3 『リサイクル貢献度』が一定になると、アンケートに回答することが可能となり、回答すると QUO カード（500 円）がもらえます。

《ホームページ <http://www.matec-inc.co.jp/jc24/index.html>》

【(株)マテック・石狩地区】

マテック石狩地区には、石狩支店、ELV^{※1} 解体工場、ASR^{※2} 資源化工場、タイヤ資源化工場、RPF^{※3} 工場及び OA^{※4} 解体工場があります。ELV 工場では、使用済自動車の解体からシュレッダープラントでの解体自動車の破砕処理、破砕により発生した選別残さの資源化、タイヤの処理と、使用済自動車の一連のリサイクルの流れを見学することができます。また、RPF 工場では、RPF の製造の様子、OA 解体工場ではパソコンやモニターなどの OA 機器類や携帯電話やゲーム機などの小型電子・電気機器、パチンコ台の処理などを見学することができます。

今回は、なかなか見ることができない ELV 解体工場と OA 解体工場の視察を予定しております。

※1 ELV : End of Life Vehicle (使用済自動車)

※2 ASR : Automobile Shredder Residue (自動車シュレッダーダスト)

※3 RPF : Refuse Paper&Plastic Fuel (古紙・廃プラスチック固形燃料)

※4 OA : Office Automation (事務作業の機械化)

《ホームページ <http://www.matec-inc.co.jp/>》